



ぼうさい まもる
防災 守くん

ふれあい119

「平成15年度総合防災訓練が北上市で」

9月1日「防災の日」の午前7時30分頃北上市内で震度6強の地震が発生したとの想定で、さくら野百貨店付近を中心に総合防災訓練が実施されました。



(詩歌の森公園で、岩手県防災ヘリ「ひめかみ」による負傷者救急航空搬送訓練)

災害の教訓に学びたい
自分で自分を守る



消防長
小原 勝利

今年五月の宮城県沖地震の管内の震度は五弱であった。火災等被災された方々に心からお見舞い申し上げます。被害が予想を下回り不幸中の幸いと思っております。今回の地震は、建物固有の揺れと地震波の周期が一致しなかったことから、被害が少なく済んだといわれております。阪神淡路大震災の衝撃も、時の経過と共に薄らいできておりますが、災害の教訓として、「真に痛い目に遭ったものは学ぶ」が「単なる知識だけだと学ばない」と言う指摘があります。被害状況によっては、消防等の初動に時間を要することも予想されます。阪神大震災がそうであった。被害防止のため、耐震補強、家具転倒防止等はぜひやってほしいものである。

総合防災訓練 カメラスケッチ



(ツインモールプラザで実施された
はしご車による高所救助救出訓練)



(北上市役所で行われた災害対策本部
設置運営訓練)



(婦人消防協力隊など各団体の皆さんによる
応急食料炊出し訓練)



(黒沢尻体育館で実施された一般市民による
心肺蘇生実施訓練)



高橋達消防士 藤村淳生消防士
佐藤忍副士長 高橋啓介消防士

第三十二回全国消防救助技術大会が八月二十八日仙台市で開催され、東北代表としてロープブリッジ救出種目に出場した北上消防署の佐藤忍副士長、高橋啓介消防士、藤村淳生消防士、高橋達消防士のチームは、連日の猛訓練の成果を遺憾なく発揮し入賞を果たしました。

このチームは八月五日仙台市で行われた東北消防救助技術指導会で、第三位に入賞して全国大会出場を決めていました。

隊員達は、この入賞は署員のサポートのおかげ、今後は培った技術を生かすことを誓っていました。

**全国消防救助技術大会で入賞
北上消防署チーム**

アッ、地震だーッ あなたは どう しますか？

1 つくえ 机やテーブルの下にもぐりこみましょう。



2 ストーブやガスレンジの火をすぐに消しましょう。



3 ざぶとんなどで頭を守りながら、たんすや戸だな、電灯の下からはなれましょう。



4 玄関の戸は開けて、建て物の中に閉じ込められないようにしましょう。



*避難する時のじゃまにならないように廊下や階段に物を置かないようにしましょう

5 外へ逃げるときはあわてないこと。物が落ちてきたりへいがたおれたりして危険です。



火災・救急・救助は119番へ

消防車を呼ぶときは…

あわてず住所・氏名・目標物をはっきり伝えてください。何が燃えているのか、どのように燃え広がっているのかできるだけ詳しく教えて下さい。

火事です…

(例) 場所は、〇〇町〇〇丁目〇〇番地の住宅です。目標は、〇〇学校の北側です。住宅から火が出て激しく燃えています。

救急車を呼ぶときは…

あわてず、事故か急病か、住所・氏名・目標物、患者はどんな状態か、かかりつけの病院はどこかはっきり伝えてください。

急病人です…

(例) 60歳の夫が、急に倒れ意識がありません、呼吸はあります。かかりつけは〇〇病院です。

携帯電話からの119番

携帯電話からの119番通報が増えています。携帯電話からの通報は、電波状態が悪く、途切れて内容がよく伝わらないこともあります。北上市、湯田町、沢内村から携帯電話で119番通報する場合は、代表 (0197) 64-1122へ通報することをお勧めします。

テレホンサービスを行っています。

災害情報・休日当番医の案内はテレホンサービス (電話65-5119) をご利用ください。

北上消防本部 指令室 TEL64-1122

灯油等の流出事故多発・注意を！

管内（北上市・湯田町・沢内村）では、ホームタンク等から油類の流出事故が多発しております。特に多い事例は、ホームタンクから灯油をポリ容器に小分け中、その場を離れたため、ポリ容器から灯油が溢れ出し、周辺の水路、川に流れ出てしまうケースです。

流出事故が発生すると、消防署、市町村の担当者、保健所及び警察署などが出動し、原因の調査・油の回収、処理に当たります。

関係機関が出動して、使用した資器材及び処理費用（産廃処理業者に処理委託した場合）は油を流した人の負担となり、その費用が多額になる場合があります。

このような事故を防止するために、次の事に注意しましょう。

- ▼ホームタンクから灯油をポリ容器に小分けする際は、その場を離れない！
- ▼ホームタンクには防油堤を設置しましょう！
- ▼最近地震が多く発生していますが、大きな地震の後には油が漏れるおそれがありますので、ホームタンク、配管の点検をしましょう！

□流出事故例



□防油堤設置例



西和賀消防署で職場体験 沢内中学校二年生五名

平成十五年八月四日、沢内中学校二年生五名の男子生徒（畠山冬樹君、高橋亨君、加藤拓慎君、竹澤元輝君、石川大器君）が、西和賀消防署で職場体験学習を行いました。

当日は、あいにくの小雨にもかかわらず生徒たちは放水訓練、救急車の資器材使用訓練及び救助訓練に、積極的に挑戦し心地よい汗を流していました。

昼は、職員手作りの特製カレーを一緒に食べながら職員と談話し、消防の仕事の大変さを実感しているようでした。

体験結果の感想について、防火服を着て空気ボンベを装着しての放水体験は体力的にきつかったようですが、職場選択の参考になったようです。

その油断 火から炎へ 災いへ

秋季全国火災予防運動が

「十一月九日～十一月十五日」

期間中消防組合管内では、火災予防思想の一層の普及を図るため、次の事を実施します。

- 一、消防車両等による広報活動
- 二、独居老人家庭の防火指導
- 三、ホテル、旅館、大型店舗の立入検査
- 四、各種広報媒体に依頼
- 五、幼稚園児、保育園児の防火絵画作品展

火の用心

「お詫びと訂正」

前号（二月号）の「ふれあい119」に誤りがありました。

「平成十四年中の救急出動件数」の説明文中救急車で病院に搬送された人は二、一五二人で管内の二六人に一人が利用したことになっておりましたが、正しくは四六人に一人です。お詫びして訂正いたします。